

阿見町荒川本郷地区中心エリア サウンディング調査結果概要

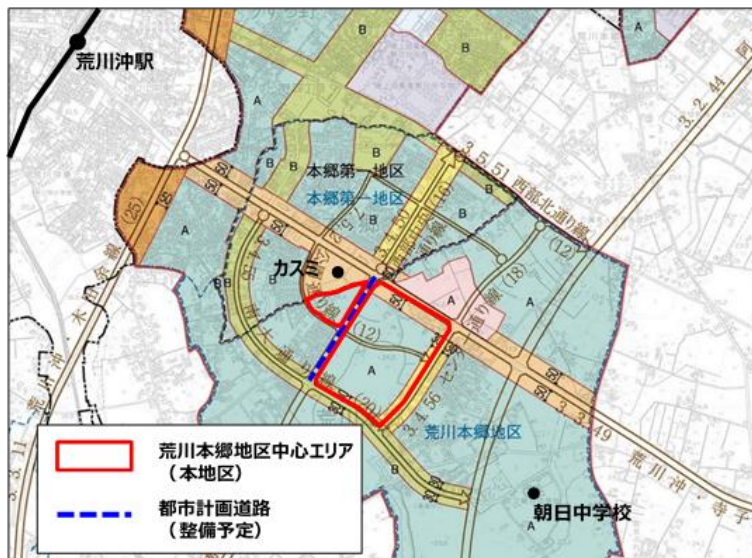
1 調査の目的

当町では、荒川本郷地区中心エリアにおける土地利用及び事業化の可能性について検討を進めています。このたび、民間事業者の参画意向や事業アイデア、事業化に当たっての課題等を把握し、今後の検討の参考とするため、サウンディング調査を実施しましたので、その概要を公表します。

2 調査概要

対象地区 荒川本郷地区中心エリア
実施期間 令和8年5月18日（月）～6月5日（金）
参加事業者数 5社

【位置図】



3 調査結果の概要

●事業化に関する意見

- ・良好な住環境が整っているエリアであり、事業参画に前向きな意向を示す事業者が大半を占めた。一方で、事業化に向けては事業採算性等の検証が必要であり、判断までに一定の期間を要するとの意見があった。
- ・地権者の合意形成や公共施設整備との調整が重要な課題として挙げられた。
- ・開発行為と土地区画整理事業の2パターンでの提案があった。

●土地利用に関する意見

- ・住宅を中心とした土地利用が有効である。一方で商業機能の導入や複合的な土地利用の可能性もある。

●公共施設整備に関する意見
・都市計画道路公園通り線及び近隣公園は、本エリアのまちづくりにおいて重要な施設である。一方で用地確保や地権者との調整については、行政による支援や役割分担が必要と考える。
●町有地活用に関する意見
・処分単価について、事業採算性を考慮する必要があるものの、これまでの売却実績等を参考に設定することが望ましいと考える。

4 今後の進め方

当町では、今回のサウンディング調査結果を参考としながら、事業化の実現可能性や公共施設整備のあり方などについて引き続き検討を進めてまいります。

なお、本調査は民間事業者との対話を通じて意見を把握することを目的として実施したものであり、事業の実施や事業手法を決定するものではありません。